平成 30 年度事業報告書

（平成 31 年 6 月 14 日）

特定非営利活動法人　ジオライフ協会

※30 年 12 月　団体名称変更：特定非営利活動法人ハンサムガーデン

Ⅰ　事業期間

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

Ⅱ　事業の成果

平成 30 年度、当団体は平成 30 年 6 月 14 日に総会を開催し、事業計画とその予算に承認を得て、以下の事業を実施致しました。以下のその内容と実績を報告します。

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 農業を持続的に発展させる為の知見、技術の研究と普及に関わる事業

（-1.） 研究開発プロジェクト１『中小農家が使いやすい潅水判断支援システムの開発』

② 農業の経営と里山や農地とそこを生業とする農業文化および環境の保護と維持に係る事業

（-2.）営農事業　ハンサムガーデン宇陀農場の運営

③ 農産品販売ノウハウの開発と販売、普及に関わる事業

（-3.）野菜流通事業　ハンサムベジタブルマーケットの運営

(2) その他の事業

① 産業普及、促進、及び継承に伴う講習や経営指導

また、本年度、団体の目的、名称の変更、主たる事務所の移転を行いました。
事業目的：内閣府 NPO ポータルサイトを参照下さい。
名称：旧名称　ジオライフ協会、新名称　ハンサムガーデン
主たる事務所　奈良県宇陀市榛原比布 1312

Ⅲ 平成 30 年度に実施した事業の内容

①農業を持続的に発展させる為の知見、技術の研究と普及に関わる事業

(-1.) 研究開発プロジェクト1『中小農家が使いやすい潅水判断支援システムの開発』

本年度、鳥羽商船白石研究室と連携して以下装置の開発と実装を進めました。

-1.　ビニールハウスの灌水用電磁バルブ、換気用巻上モーターを最大 16 個を遠隔で制御するワンボードマイコンの開発実装
-2.　遠隔制御システムアプリ（スマホ用）の開発。
-3.　気象情報を取り込み、灌水判断を検討する仕組みの研究開発

i)スマートホンで制御する電磁バルブ　ii)コントロール制御装置　iii)スマホアプリ

この内、-3. の気象時報と灌水判断検討を行う仕組みの研究開発は時間と予算が足りず、完成には至りませんでしたが、ビニールハウス 8 棟に各 2 個づつ 16 台の電磁バルブを設置して、遠隔操作で開閉できる遠隔操作水やりプロセスの開発と実装は実現しました。

ソフトウェアの部分についても、IT 導入補助金の認定を受ける事ができたため、より安価に現場で仕組を導入してもらえるベースがそろってきました。
団体はこの装置とシステム構成を「カケロン」と称して、キット化を今後検討してゆきます。
なお、当初計画にあった(2.）研究開発プロジェクト２『地域気象を身近な生活に役立てる研究』は、連携研究先の予算が折り合いつかず、実施されませんでした。

▼予算
収入 1,900,000　　支出　1,900,000　　収支【　　0】

▼実施結果
収入　110,690　　支出　77,216　　収支【33,474】
　当初予算通りの収入が確保できず、規模を大幅に縮小せざるを得ませんでしたが、仕組みとして次年度へつなげる内容を達成できたものと考えています。

②農業の経営と里山や農地とそこを生業とする農業文化および環境の保護と維持に係る事業
(-2) 営農事業　ハンサムガーデン宇陀農場の運営

　今期、奈良県宇陀市においてレタス類、エダマメ(丹波黒)、ニンジン等を 36 週間にわたり奈良県宇陀市(100a)、奈良市富雄町(12a)において生産。栽培生産性の可視化と出荷、探客、生産性の向上に取組みました。
　中心に据えたレタスは環境温度が 5℃～25℃を外れると発芽しにくく栽培が難しくなり、夏季と厳冬期栽培がどうしても品質を維持しにくくなります。一方、サラダ提供をサービスの特徴とされるような、飲食店、ホテルといった顧客需要としては、安定した価格と納入、そして品質を担保したい事情があります。
　これまで団体の栽培経験を通して、サニーレタス、リーフレタス類であれば関西圏の準高原(奈良県宇陀市)からでも周年出荷が可能となる栽培条件とその営農課題を整理してきいていました。時期と土地に合った品種の選定、そして生育予測法の実施に取組、出荷需要から栽培計画を組み立てて、出荷する営農事業を立案、営農メンバー３名でレタス類の周年出荷栽培に取組みました。

　サニーレタス類　200g、リーフレタス類 250g を出荷基準として、28 品種の栽培比較試験実施、有効と思われる 16 品種の選定に至りました。また、販売先として、周年で納入を契約戴ける顧客を 6 社 7 拠点獲得。営農を通期で黒字とできる損益分岐点 80 万円を超えて実現できるところまで見通しが立ってきました。

▼予算
収入 5,400,000　　支出　4,800,000　　収支【 600,000】
▼実施結果
収入 6,456,299　　支出　5,276,634　　収支【1,179,665】

　又、主たる事務所を奈良県に移転する際、奈良県青少年・社会活動推進課の指導を受けることができて、以前から整理が必要であった、定款目的の変更に取り組みました。あわせて 5 か年に渡る営農事業案を組み立て、宇陀市の認定農業者制度に申請を上げたところ、認定農業者としてその計画が認められました。

③農産品販売ノウハウの開発と販売、普及に関わる事業
(-3.) 野菜流通事業　ハンサムベジタブルマーケットの運営

大阪市西区江戸堀の野菜販売店舗「ハンサムベジタブルマーケット」と飲食店顧客へ向けた野菜販売事業を実施して７年目。販売店舗の売上が長らく伸び悩んでおり、事業展開が年度当初手詰まり感がありました。そこで、もう一度現場の運営体制に「数値目標」と「現場の取組優先順位付け」「顧客別の需要整理」を軸にスタッフと意見交換を重ねてきました。どうしても顧客満足を採算度返しでフォローしてしまう現状と、有効な業務の組合せが見つけられず、当初現場は混乱しました。

チームの取組がだんだんと効を奏して第３四半期に差し掛かる頃、現場の数値管理が少しづつ見える化が実現。業務をチームメンバーに効率よく分担することと、定期的会議と情報交換で、少しづつ販売実績が伸びてきて次年度につながる事業体制が見えてきています。

▼予算
収入 6,800,000　　支出　6,800,000　　収支【　　0】

▼実施内容
収入 7,382,034　　支出　6,363,768　　収支【 1,018,266】

(3) その他の事業
①産業普及、促進、及び継承に伴う講習や経営指導

講演、活動のアウトリーチ活動として、奈良県産業振興課へのシンポジウム参加、圃場視察体験を実施しました。

収入　　0　　支出　93,660　　収支【 ▲ 93,660】

●事業全体

歳入合計	13,949,023		
歳出合計		13,916,079	
損益額			351,561

Ⅳ　社員総会の開催状況

第１回通常　総会
(日　時)　2018 年 6 月 14 日　15 時 30 分から 16 時
(場　所)　NPO 法人ジオライフ協会事務局
(社員総数)　7 名
(出席者数)　7 名（うち委任状出席者 3 名、書面表決者０名）
(内　容)

第一号議案　議長、議事録署名人、書記の選任
第二号議案　事業報告と決算、活動報告
第三号議案　事業計画と予算
第四号議案　今年度の活動目標

臨時総会
(日　時)　2018 年 9 月 18 日　午後 7 時 00 分から 20 時 10 分
(場　所)　NPO 法人ジオライフ協会事務局
(社員総数)　7 名
(出席者数)　7 名（うち委任状出席者 2 名、書面表決者０名）
(内　容)

第一号議案　議長、議事録署名人、書記の選任
第二号議案　定款変更承認に関する件

第三号議案　定款変更の日に属する事業年度および翌年度の事業計画に関する件

第四号議案　定款変更の日に属する事業年度および翌年度の活動予算に関する件

Ⅴ　理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会 6月14日　主席者　窪　一、廣淵　智子、
場所　ジオライフ協会事務所
第一号議案　総会、報告資料の理事会承認
第二号議案　事業計画の理事会承認
審議の結果、理事の過半数(三名中二名賛成)をもって承認

第2回理事会 9月18日　主席者　窪　一、廣淵智子、欠席理事　1名
場所　ジオライフ協会事務所

第一号議案　定款変更の件
審議の結果、理事の過半数(三名中二名賛成)をもって承認

第3回理事会　12月14日 主席者　窪　一、廣淵智子、欠席理事　1名

場所　ハンサムガーデン事務所

第一号議案　株式会社日本政策金融公庫からの借入について承認
審議の結果、理事の過半数(三名中二名賛成)をもって承認

第4回理事会　3月25日 主席者　窪　一、廣淵智子、欠席理事　1名
場所　ハンサムガーデン事務所

第一号議案　平成31年度、第一回総会内容と事業方針、予算案の審議と承認
第二号議案　理事任期満了に伴う改選の件
第三号議案　議事録署名人の選任
審議の結果、理事の過半数(三名中二名賛成)をもって承認